

平成20年7月砥部病院

高齢者こころのケアセンター相談室 ニュースレターNo. 27

七月といえば、七夕ですね。センターでも各ユニットで七夕飾りを作り、七夕レクリエーションをして、夏を迎える心つもりをしました。

民舞『高浜舞の会』

平成20年6月25日(水)午後2時から、「高浜舞の会」10名の方に舞っていただきました。民謡では、日本の意気を、演歌では艶やかに女心、力強い男心を、踊りでは涼しげな浴衣姿から活気のあるはっぴ姿まで、梅雨を吹き飛ばすのはもちろん、炭坑節で一足早く今年の夏も感じられる楽しい1時間でした。



雨の中、ご来院いただき本当にありがとうございました。



夏祭りのご案内

今年も恒例砥部病院全体で、本館1階外来フロアを利用して、夏祭りを行う予定です。8月のいずれかの木曜日を予定しております。お時間のある方ぜひご参加ください(^)



聴こえ・補聴器相談

第1月曜日**8月4日(月)午後2時から**の予定です。

補聴効果についてご相談したい方は、事前にご連絡ください。

Q あんど A

Q.認知症もついてわかりやすい本を紹介してください。

A.ご家族から教えていただいた本「はじめての認知症ケア」をご紹介致します。

この本は小学館から今年の3月に出版された本です。永田久美子先生（認知症介護研究・研修東京センター主任研究主幹）の監修、お隣香川県出身高瀬直子さんの作画で、馴染み深い、手に取りやすい漫画です。



認知症介護のための、初のコミック版実用書

高齢化社会を迎え、介護の問題は、誰にとっても他人事では済まない状況となっている。特に、認知症介護は介護者の負担が大きく、また治療法も確立されていないだけに、問題に直面して初めて、その受け止め方や対処法に戸惑い悩むケースが多い。本書は、たとえば家族に認知症発症が疑われる時の基礎的な知識や心の持ち方、さらに公的な支援制度の活用法などを、読みやすく理解しやすいまんが形式で紹介するユニークな実用書である。あるアルツハイマー型認知症の女性を物語の軸にして、認知症の初期（健忘期）、中期（混乱期）、後期（生活障害期）に至るまでに知っておきたい情報や知識、介護する側、される側の心の問題などを随所に盛り込み、認知症ケアに関して先ずはじめに読んでほしい内容となっている。

KUMAのつぶやき

畑には、とうもろこし、ミニトマトなど夏野菜が実をつけはじめました。ミニひまわりは花をどんどんとつけ、スイカは、畑からはみ出してつるを伸ばしています。アルファルトの反射熱にも注意しながら、お散歩してみてください。



編集：砥部病院高齢者こころのケアセンター
相談室（文責 武田）
相談員：青木(512)・田中(513)
中川(514)・武田(516)

何かお気づきの点がございましたら、ご相談ください。